

外来診察

脳と心のドック

予約制

認知症・うつ病の鑑別診断

アルツハイマー型認知症・血管性認知症・うつ病・双極性障害・統合失調症など

外来診察のひとつとして鑑別診断を行います。
保険適用

物忘れの原因は、けして認知症のみとは限りません。

- 最近、ものをよく忘れるようになり「私は呆けているのではないか」と感じる高齢者ご本人やご家族の方。それは認知症（呆け）かも知れませんが、実はうつ病でも似た状態が現れます。
- うつ病などは殆どの場合お薬で改善できます。その鑑別を行うのがこのドックの主たる目的です。当院では同様の症例を数多く経験しております。

078-942-1021 明石土山病院「脳と心のドック」受付まで
平日 午前9:00～午後4:00（土曜 11:30まで）

診察費用 ※検査料・診察費を含む
初診の方の窓口負担金の例

1割負担 75歳以降

約 2,450 円

2割負担 70～74歳

約 4,900 円

3割負担 6～69歳

約 7,300 円

※窓口での自己負担額は所得など条件により異なります。ご自身の医療保険の負担枠をご確認下さい。

3種類の検査

☑ **光トポグラフィ検査** ※この検査での費用は頂きません

脳の動きを目で見える形でグラフ化し、うつ病や認知症等に現れる特有の波形を見ます。
測定する装置のついた帽子を被って行動した際の、脳内の血流を測定します。髪や頭皮に手を加えたり、また測定中に痛みを伴うような検査ではございません。

光トポグラフィ装置 ▶



☑ **MR I 検査**

磁気を利用して頭部の断面図を撮影し、脳の腫瘍・萎縮などを画像から確認します。
エックス線を利用するレントゲンと異なり磁気を利用します。放射線被曝の心配もなく、より身体に負担も少なく済みます。開放型ですので圧迫感がなく、閉鎖空間が苦手な方でも検査して頂けます。

MR I 装置 ▶



☑ **心理テスト**

臨床心理士によるテストを行います。
機器だけではなく、医師による診察時以外での検査にも実際に臨床心理士が向かい合います。

※外来診察時に検査を行います。検査の結果につきましては後日郵送にてご送付させて頂きます。
※診察の内容により、必要がないと医師が判断した検査は行わない場合がございます。



医療法人社団 正仁会

明石土山病院
介護老人保健施設希望
つちやま訪問看護ステーション
宿泊型自立訓練事業所みどり寮
共同生活援助事業所グループホームノア

基本理念

『人間愛に満ちた医療と

愛情こもる看護・介護』

〒974-0074
兵庫県明石市魚住町清水2744-30
TEL: 078-942-1021
FAX: 078-941-1573
E-Mail: info@athp.jp

ホームページも是非ご覧下さい

● PC・タブレット・スマートフォン
<http://www.athp.jp/>
● 携帯用 (i-mode)
<http://www.athp.jp/i/>



MIDORI*

季刊誌

令和3年 新年号

新年にあたり

理事長 太田 正幸

今年が丑年、牛の歩みは牛歩といわれノロイものの代名詞になっています。一方で闘牛という勇壮なものもあります。

去年は新型コロナウイルスの為、極めていびつな年となりました。今年はどうなるのでしょうか？

英米ではすでに昨年12月中旬頃より新型コロナウイルスに対するワクチンの接種が開始されています。日本でも12月18日に厚生労働省に対して承認申請がなされ、早ければ今年3月にも国費で接種が可能になるとの事です。

こういった新しいワクチンを接種するのには慎重を期さなければなりません。今年中に新型コロナウイルスの脅威は去ると思われず。

ワクチン接種を受けて中和抗体ができるまでは今までと同じく手洗い、マスク、ソーシャルディスタンス、3密を避けるといった地味な作業を牛歩の如く慎重に行い、中和抗体を獲得すれば猛牛のごとく暴れまわられるでしょう。



新型コロナウイルスについて

院長 財田 一也

新型コロナウイルスが世界中で猛威を振るっており、まだまだ予断を許さない状況下にあります。東京、大阪、北海道などでは爆発的に感染が拡大しており、医療提供体制が深刻な機能不全となり「ステージ4」に相当すると言われております。しかし我々医療従事者はこれら未曾有の状況に対しても臆することなく、懸命に新型コロナウイルスと戦い抜かなければなりません。

その対策として我々医療従事者自身がウイルスに感染しないことが一番に挙げられると考えます。最も注意すべきことは我々が感染することでウイルスを病院や施設に持ち込み、爆発的な院内感染であるクラスターを発生させることです。お預かりした大切な患者様を守ることはもちろんのこと、その治療にあたるスタッフが感染で戦線離脱するようでは良質の医療を提供することはできません。感染しないためにはすでに周知されているとおり密を避け、手指手洗い消毒を徹底し、自己免疫力を低下させぬよう休息と栄養を摂ることが大切です。当院に入院中の患者様やご家族様にはもうしばらくご不自由をおかけいたしますが、面会・外出・外泊の制限の協力を引き続きお願い申し上げます。

新型コロナウイルスは「新型」と名の付くように世界中の人々が初めて経験し、その対応に苦慮するとともに厄介な感染症です。我々の施設だけで独自に対応しきれるものではありません。日本中で協力し合うのはもちろんですが、あかし保健所・明石市医師会・明石市立市民病院の各関係機関と連携しながら対応に当たっております。これまでは国の制度での「帰国者接触者外来」でPCR検査が行われておりました。しかし最近は唾液検体でのPCR検査が行えることを受け、当院入院中の患者様に限ってですが臨床上PCR検査が必要と判断した場合は保健所の関わりなく「行政機関の委託」として保険診療でPCR検査ができるよう当院も施設整備を行いました。

12月下旬にようやく治療薬やワクチンが承認されたというニュースが聞かれ始めました。前述の通りまだまだ予断を許さない状況ではございますが少し明るい光が見えつつある状況かと思っております。今後も職員一丸となって国難をのりきり、患者様の治療を全力で行う所存でございます。

精神科デイケア 報告

令和元年11月26日に『土山祭り』が開催されました。今年も例年のように“古着コーナー” “喫茶コーナー” “ゲームコーナー” の3つのコーナーにたくさんの患者様や外来の方々にお越し頂くことができました。ありがとうございました。

秋の恒例行事になったこの『土山祭り』の経緯を少し、お伝えしたいと思います。平成3年に太田正気記念館（体育館）ができたことをきっかけに、「バザーをしてみてもは」という提案がレク委員会の中であがりました。行事の名前は、職員全員に募集し『ふれあいバザー』と決まりました。当時「服が欲しい」と言われる患者様が多く“古着コーナー”を、「食べることならば参加できる方も増えるのでは」と“喫茶コーナー”を等、レク委員会で何度も話し合いをもちました。

その後、この『ふれあいバザー』は毎年4～5月の恒例行事となりました。そして回を重ねる

看護部 研修会報告

< P P E 研修会 >

2020年12月23日医P P E研修会が行われました。

P P Eとは個人防護服のこと

で、感染対策において防護服等の脱着、取扱は大変重要なことです。万が一、新型コロナウイルスが発生した場合に備えこれからも繰り返し訓練していきたいと思っております。

患者様安全安心に療養できるよう職員一同尽力して参りたいと思っております。

